

第20回「文芸思潮」現代詩賞 中間発表 二次・三次・三次予選

●第20回「文芸思潮」現代詩賞に御応募いただき、まことにありがとうございます。おかげさまで、日本全国および外国より二三〇人から作品をお寄せいただきました。心から御礼申し上げます。去る五月三十一日に締め切らせていただき、厳正な一次・二次・三次予選審査を行いました。その結果を謹んでここに発表させていただきます。
無印は一次予選通過者、○印は二次予選通過者、◎印は三次予選通過者です。長いタイトル、複数タイトルは短く省略させていただきます。

北海道

- ◎「巡り生きゆくモノよ」 column
◎「紫色」「向日葵」 古宮行恵
◎「楽しむことを赦してくれた」 五月とじか
◎「女神に首を絞められたい」 春町桃花
◎「燃えるキリン」 松岡真弓
◎「予測は無理」 田道間ハヤシ
◎「生きるということ」 美波
◎「熱の憶え」「parity」 中村郁恵
■青森県
◎「深海魚から」 小山田良三
◎「てとかから」 菊池彩乃
■岩手県
◎「失い彷徨う者達へ」 三浦恵子

宮城県

- ◎「消えた命よ」 1623
◎「セイ」 石利き
◎「心の鍵」 柏村ねお
■山形県
◎「重」「問」「賛美」 里井 緑
■福島県
◎「それは」うみのひつじ
◎「青夏」「抱想」「柔崩」 菅野 望
■茨城県
◎「小雪小説」 Smile 秋田博美
◎「海辺の遠景」「舟路」 関根 怜
◎「ムーンロード」 柊みどり
◎「宇宙からの電話」 天ヶ谷麗
■栃木県
◎「桜は」「蝶夢」 吹木文音

- 「余白」 也子
■群馬県
◎「海馬の王子」 波尾剣斗
■埼玉県
◎「復讐」「私欲」 GODE
◎「境界線」「香り」 ドロシー
◎「とある憧憬」 みんなな
◎「お乗りんご」 剣城かえで
◎「クリぼっちは最高の幸せー」 三日月李衣

- ◎「ラストセイリング」 柏原 宥
◎「涙と水爆」 北川 聖
◎「西新宿のブルーベリービル」 北村灰色
◎「異次元獣」 柳柳太郎
◎「開かれた眼」 宮澤なずな
◎「花の雫」「夜の中で」 坂井 傑
◎「旧い木にさようなら」 小嶋恵理
◎「異国の地」 風間麗子
◎「ほしとわかれ」 宮崎夏緒
■千葉県
◎「下層階級」「泥の花」 あかね
◎「篝」「燈」「焚」 ヤス
◎「年輪」「絶望」 佐々木漣
◎「君を惜しむ」 実川阿仁

- ◎「まだらな青い時」 森下万尋
◎「父とゴキブリと私」 水沢朱実
◎「あの日人工の小川で」 石川小傘
◎「オセロット日記」 湯村りす
◎「幸せの瑕疵」 白井しき
◎「下り坂」「許容」 片桐こげち
◎「カラクリ」「凹」 葉師丸伶央
◎「追憶と忘却の間で」 藍羽由宇
◎「リストアート」「惜春」 角田和美
■東京都
◎「最後の手紙」 いでみどり
◎「ハートとやら」 サカイ遠雷
◎「炎日」 シラカワリュウ
◎「春は病」「浄化」 てづかかなこ
◎「ひだまり」 むらやまちあき
◎「伝えられたら」 沓貫亨治
◎「森の中を彷徨う」 遠藤芳子
◎「ずっとそうしていたかった」 奥野ヒラメ
◎「あったかい」「茜空」 花結
◎「西郷星」「地層」 花山徳康
◎「猿夢未遂」 械冬弱虫
◎「月夜」「発熱」 宮原透夏
◎「ト音記号の涙」 近藤善揮
◎「夜に沈む」 銀森そのみ

第20回「文芸思潮」現代詩賞 予選通過作品発表

- ◎「香の煙」「なにを着よう」 虎
◎「小林さん」 佐久間行
◎「ペトリコール」 佐山由紀
◎「神託」「参列」 鹿島 楓
◎「深淵の下見」 樹里
◎「風呂場」 色透ふう
◎「波よさらば」 真宮治郎
◎「川柳泥棒」 赤橋梗生
◎「残波」 千葉紫月
◎「天地屋」 素月
◎「老人」「春への祈り」 蘇我麻衣
◎「多重奏」「新生」 相河史哉
◎「影絵」「産声」 大金ゆづき
◎「次への糧」「四季」 大澤馨櫻
◎「飛行機雲 地球人時々宇宙人」 竹宮花虹
◎「夏葡萄の刻」 竹宮花虹
◎「くじらの歌」「夏鳥」 中沢人鳥
◎「鱗」「貝」 渡辺八疊
◎「一陽」「十月宵」 南斗るい
◎「天界の眠り」 辺見田空
◎「五月 六日」 高瑞七美
◎「冬と旅人」 黒田裕美子
◎「鑑真」 清水一美
◎「ガラスの荒野」 杉平 敦
◎「りぼんの騎士」 若山 聡
◎「記憶」「身体」「液体」 片岡周子
◎「バードストライト」 若林麻衣
◎「SAVANNA」 南雲和代
◎「爪」 井口牧子
◎「差し替え」 今 誠

- ◎「島の詩人」 芦田晋作
◎「綺麗な顔になって」 小川勇大
◎「真空を走る」「驟雨」 坂下尚人
◎「水の花」 近藤小百合
◎「K点超え」「粒」 小山耕志朗
◎「霧の残像」 庄司直也
◎「灯火」 横山 剛
◎「八月二十四日木曜日」 山口紗奈
◎「その顔を見よ」 花房彩子
■神奈川県
◎「譚歌」 キネプチタツヤ
◎「命の穂」 くしき牙
◎「予行練習」 河口國江
◎「ばくが消えた八月」 宮崎ひまり
◎「薔薇の季節」 高島奈緒
◎「真夜中の青空」 佐藤 裕
◎「ティーバッグが潮風に揺れる」 生魚はるか
◎「日曜の夕陽から」 定食亭定吉
◎「面影」「命の奇跡」 田咲恵子
◎「死楽」「隣国」 夕沢みのる
◎「迷子」「荷物」 阿彦美咲
◎「丘から望む」 横井純子
◎「骨箱」 大石さち子
◎「夏の夜」「今宵の月」 杜山美帆
◎「世界平和」「写真」 永山典努
◎「風船に乗って」 福井雅人
■新潟県
◎「せんちめらたるじい」 わたなべ
◎「鈴の音」「大志」 周防千鶴

- ◎「巡礼」 松浪丞
◎「コトリ」 優木絆名
■富山県
◎「願い」「折り合い」 有澤かおり
■石川県
◎「モンドリアンの絵」 酒井恵三
◎「今いくつだ」 長戸 実
■山梨県
◎「再生」 カミールおん
◎「売家になる」 ふきのとう
◎「青葉町で」 田中浩司
■長野県
◎「眠る指先に」 今井葉子
◎「草球」「海」 妻咲邦香
◎「焚書」「冥土のスープ」 野葛間 露草一糸
◎「羨」 緒方水花里
◎「辛党のあなたへ」 緒方水花里
■岐阜県
◎「冬旅」「白樺」「書架」 下原整走
◎「春」「ひとりぼっち」 後藤 順
■静岡県
◎「馬の国から」 後藤敏斤
◎「紫陽花の中」 石原 尚
◎「弟よ」「君を泣く」 田村全子
◎「S.F.」「ballade」 内田直希
◎「骸が野辺で笑ってる」 風谷 竜
◎「夜を渡る」 夜船モモ
◎「空」「魚の目」「呼吸」 坂田康雄
◎「月下火葬」 曲田尚生
◎「生きるんだ」 稲葉留美

- ◎「哀歌」 疋田あゆみ
■愛知県
◎「地上より、昇天の様子」
◎「魔法が解けて」 加藤シリヤ
◎「カーテンの内側」 虹乃ノラン
◎「ホットミルク」 福富ぶぶ
◎「それからの誕生」 徳丸魁人
■三重県
◎「欠点」 ミズタニJ
◎「タルタル焼きそば」 七寒六温
◎「雨蛙」「出張帰り」 岩谷隆司
■京都府
◎「熾きる」「液体」 三日月ユキ
◎「音韻脱落」 設楽いくこ
◎「無害な男が忌む女」 日下直哉
◎「美しい人」 砂澤太志
■大阪府
◎「ぬらりひょん」 愛繕夢久
◎「ノースード」 空見タイガ
◎「精神病棟」 神崎 翔
◎「鼻」「雲の上」 千里川ホテル
◎「サヨナラAI」 南原魚人
◎「酔鯨の別れ」 日南田ウヲ
◎「風のふく町」 夫 吞雲
◎「行路死亡人」 志田 恵
◎「黒い塊」 雨夜夕葉
◎「青 式」 長野充宏
◎「百日遠足」 中村 満
◎「実情」「眠気」「戸惑い」 古川久

■応募者の皆様へ
 第一次・第二次・第三次の選考について
 第20回「文芸思潮」現代詩賞への御応募まことにありがとうございます。第一次・第二次・第三次選考について選考委員会より付記させていただきます。

第一次予選の選考基準は、詩の言葉によっていかに詩が重要な基準点となります。またさらに訴える姿勢や言葉の強さも加味させていただきます。詩の言葉としては硬度が必要だったり、やや稚拙であっても、他者に訴えたい切実なものや強く感じられる作品は一次を通過しています。一次予選通過には、何%とか、何篇以内とか、数字の枠はありません。したがって、応募者全員が一次予選合格ということもあり得ます。

また第二次予選は、その中でさらに強く何かを感じられるもの、詩の形としてしっかり翼を得ているもの、言葉の光るものを選びます。一行でもいい、一句でもいい、何か一つ心に残る新鮮な言葉、結晶度の高い言葉があるかどうか、心の真実がこもっているかどうか、思いとして滑空しているかどうかのポイント

第20回「文芸思潮」現代詩賞中間発表

第三次予選は、よりたくさんの人に読んでほしいような普遍的な表現力を備えているかが、選考の基準になります。詩としてたくさんの人に読んでほしい普遍的な生命力を持つていかどうかのポイントです。できれば人の心に残った新たな力になるような魅力も備えていると推しやすくなります。方法として斬新なものも注目ポイントとして加えられることもあります。

「文芸思潮」選考委員会では、選考の便宜性のために通過作品数を何編以内と制限するのではなく、あくまで作品の内容を重視して、優れた作品がたくさんあれば、できるだけその作品の価値やレベルによって、作品を残すよう心がけています。したがって、場合によってはたくさんさんの作品が三次予選、さらにその上に選出される可能性もあります。

どうかこれらの点を御了解くださいますようお願い申し上げます。また次回もどうかこのことを念頭において御応募いただけましたら幸いです。

（「文芸思潮」現代詩賞選考委員会）

- | | | |
|--|---|---|
| <p>○「スパーク」 河波哲平</p> <p>■兵庫県</p> <p>○「虚空へ」 東風佳子</p> <p>○「桃色の夕陽は」 動天けふ</p> <p>○「魅惑」「別離」 菅野美和子</p> <p>○「不肖の兄」 西田拓真</p> <p>○「心のさえずり」 小西茂巴</p> <p>○「ドゥーラチオー・ヌーメノン」 櫻井ゆき</p> <p>「この僕に生きると言わないすべ
 ての世界」 横本大将</p> <p>■奈良県</p> <p>○「モノクローム」 インバ</p> <p>○「ヴァイオリン」 こやけまめ</p> <p>○「冬の花みずき」 中牟田桃園</p> <p>○「透き通るほどに」 有原野分</p> <p>○「酒と命」 湯浅紫保里</p> <p>■和歌山県</p> <p>○「盆帰り」「龍神」 川嶋ゆーじ</p> <p>○「裏山のはかりごと」 武西良和</p> <p>■鳥取県</p> <p>○「夏色」「職人」「白い月」 花井満</p> <p>■島根県</p> <p>○「言えない」 bluenoon</p> <p>○「ひかるせと」 橘いつみ</p> <p>■岡山県</p> <p>○「冬の庭」 ひととはなお</p> <p>○「或るレポート」 光枝初郎</p> <p>○「湖面」 新里 輪</p> <p>○「ラーメン屋」 地伊田月夫</p> | <p>■広島県</p> <p>○「すかんば」 いまだまりこ</p> <p>○「はぐれザル」 はしのぶしげ</p> <p>○「夜桜」 まつたりねずみ</p> <p>○「ワンピースの女」 高羽里桜</p> <p>○「フリージア」 細川万寿美</p> <p>○「女房猫」「幻想回帰」 常田</p> <p>○「わたしを散らす」 川咲道穂</p> <p>○「心の視力」 塚 永行</p> <p>○「ガラス」 河内銀太</p> <p>■山口県</p> <p>○「パラシュート」 晴野康史</p> <p>■徳島県</p> <p>○「贅沢な歩き遍路」 村上文緒</p> <p>■香川県</p> <p>○「燕の歌」「約束」「光」 増原拓未</p> <p>■福岡県</p> <p>○「埋もれた光」 シロサキマユミ</p> <p>○「わたしと私の星」 ヨシエ</p> <p>○「白いカラス」 吉岡幸一</p> <p>○「灌水に紡ぐ」 久利潤保</p> <p>○「小さな意志」 木原光平</p> <p>■佐賀県</p> <p>○「被害者罪人」 麻倉 潤</p> <p>■熊本県</p> <p>○「桜ユニバース radio' edit」 keiseihh(stereotype2085)</p> <p>○「白」 めり・ゆみ</p> <p>○「夏」「靴」「塔」 丘田 青</p> <p>○「秘密」 西野 光</p> | <p>「ゴミ人間」 中立明子</p> <p>■大分県</p> <p>○「モア」 フチヒデキ</p> <p>○「やつがれ灰兎」 岩尾宏紀</p> <p>■宮崎県</p> <p>○「水の色は」 とみなが秀則</p> <p>○「最期の一行」 星原理沙</p> <p>■沖縄県</p> <p>○「贖罪」「恋悲」「業火」 琴森 戀</p> <p>○「寄留民」 幸地チカソ</p> <p>○「恐れるへその緒」 藍原知音</p> <p>○「下へ」「風葬」 齊藤航希</p> <p>○「おきなわブルー」 新垣景和</p> <p>○「笑顔を愛して」 金城朱里</p> <p>■海外</p> <p>○「青春の光と影」 阿部静雄</p> |
|--|---|---|



詩の添削指導

詩人集団 J

第一線詩人による懇切な添削指導

文芸思潮編集部や第一線詩人が、あなたの詩を読み、丁寧に指導します。
 あなたの詩作力、Poemに込める言葉の力、表現力がパワーアップされます。
 面談も可能。詩の方向、創作のヒントもアドバイスしてくれます。
 あなたの詩を詩人集団Jにお送り下さい。
 連続しての指導もあります。

1編（A4／2枚以内）5000円

2篇（A4／5枚以内）7000円

※力がアップし優秀な作品は文芸思潮に掲載します。

お問合せ・お申込み・詩の送付は右の事務局へどうぞ

詩人集団 J 事務局

〒158-0083 東京都世田谷区

奥沢 7-15-13

アジア文化社内

TEL03-5706-7847

小説の書き方を体験を踏まえて丁寧に解説する小説指導書

小説の書き方

——作家を志す人のために——

五十嵐 勉